スポーツパーソンシップ・オブ・ザ・イヤー

【UNIVAS：スポーツパーソンシップ・オブ・ザ・イヤー】

応募申請書

　　　　　令和　　年　　月　　日

長崎国際大学学長　殿

申請大学・団体の所在地

申請大学・団体の名称

申請者役職・氏名

下記のとおり応募します。

記

1. 個人名/運動部名（募集要項4.(2)応募条件①）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 個人名/  運動部名 |  | | |
| 所属大学 |  | | |
| 競技 |  | | |
| 個人の場合は以下も記載ください。 | | | |
| 学部・学科・  専攻・コース等 |  | 学年 | 年 |
| 所属部活 |  | | |

1. 応募者の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな |  | |
| 3-1団体名（正式名称） |  | |
| ふりがな |  | 役職名 |
| 3-2代表者名 |  |  |
| 3-3所在地 | 〒 | |
| 3-4連絡先  （窓口担当者） | 氏名 | TEL |
|
| 所属・役職 | メールアドレス |
|

1. 応募条件に係る確認事項（募集要項4.(2)応募条件②・③）

応募条件に係る確認事項について、確認の上当てはまる場合のみ○を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 当該取組について、実施内容、導入手順及び取組方法等をUNIVASホームページ上等で公表することが可能である |
|  | 応募者は法令上または社会通念上、表彰するにふさわしくないと判断される問題等を起こしていない |

1. 推薦理由（募集要項5（1）審査の認定要件①）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組の概要（枠は適宜広げて記載ください） | |
| 6-1　スポーツパーソンシップが見られた状況 |  |
| 6-2　プレー・振る舞いの内容 |  |
| 6-3　自律性・積極性を示す背景・詳細 |  |

【参考】

|  |  |
| --- | --- |
| 記載例 | |
| 6-1　スポーツパーソンシップが見られた状況 | * 第XX回全日本バレーボール大学男女選手権大会 女子決勝戦　○○大学-△△大学(令和元年XX月XX日)   第3セット　24-24   * 両チーム2セットずつとっている状態 |
| 6-2　プレー・振る舞いの詳細 | * 相手選手のアタックに対するブロック時に、オーバーネット行為があった。 * 主審・副審による指摘はなかったが、選手自らプレーを中断し、反則行為を申し出た。 |
| 6-3　自律性・積極性を示す背景・詳細 | * 点数が拮抗しており、相手チームへの1点入ることによる勝敗への影響が極めて高い場面であった。そのような状況下で、指摘されずとも自ら反則申し出るフェアプレー徹底の姿勢、及びそれを行動に移した勇気と誠意を高く評価したい。 * 重要な局面での反則後も集中力を切らすことなく戦い抜き、優勝した。 |